

スタジアム構想推進事業 セミナー「スタジアムとまちづくり」実施報告

セミナー実施概要

- 葛飾区では、将来的なスタジアム整備を見据え「スタジアムとまちづくり」をテーマに、区の新たな魅力や可能性について専門家と考えるセミナーを実施いたしました。

実施日時	令和8年3月14日（土）14:00～15:30
実施場所	新小岩北地区センター
実施内容	・ 基調講演 ・ パネルディスカッション ・ スタジアム構想（概要）
参加者数	・ 69名（うち区内在住47名、区外在住22名）

パネルディスカッション

- スタジアムを単体のスポーツ施設として整備するのではなく、国内外の事例を踏まえながら、健康や医療など、区民の活力となるような、区として必要な機能を有したスタジアムになればとの意見が出されました。
- 防災の視点として、災害時の拠点機能に加え、平常時から人が集い活用されている空間であることが、非常時の行動や地域の復興につながるとの考え方が示されました。スタジアムや周辺エリアを含めてトータルで考えることが重要との意見が出されました。
- 近年のスタジアム整備における事例が紹介され、スタジアムが地域活動や交流の拠点となることで、人の流れやにぎわいが生まれている状況について意見が交わされました。スタジアムをきっかけとして地域との関係性を築き、まち全体の活力につなげていく視点の重要性が共有されました。
- 葛飾区が持つ文化やコンテンツ、地域資源を活かすことが、区民の誇り（シビックプライド）の向上や、次世代に魅力を引き継ぐことにつながるとの認識が共有されました。スタジアムを一つのきっかけとして、地域の魅力を再発見し、交流を生む可能性について意見が出されました。

基調講演 モデレーター



日本女子体育大学 教授
(株)スポーツファティ研究所 代表
上林 功 様

パネルディスカッション パネリスト



(株)TSUBASA 代表取締役
(株)南葛SC 代表取締役専務兼GM
岩本 義弘 様

東京理科大学 講師
認定准都市プランナー
高柳 誠也 様

(公社)日本プロサッカー
リーグ 経営基盤本部
横松 篤志 様

基調講演

- 基調講演では、スタジアムとまちづくりをテーマに、国のスタジアム・アリーナ改革にも携わる上林功氏に講演いただきました。
- 国内外の事例を通じて、地域と連携したスタジアムのあり方が紹介され、スタジアムをまちづくりにつなげていくことの重要性が示されました。



スポーツコンプレックスからまちづくり・ヒトづくりへ

- スポーツ×「都市機能」
- 「民間主導」によるボトムアップな共創
- 「街ながり連帯」で官民の協働
- 葛飾の次代に渡す「社会価値」

「集まる」スポーツを「つながる」スポーツへ

